

総合地球環境学研究所 グリーンナレッジセンター
特任助教の公募について

1 所属・職種及び人数

特任助教 2名 (所属：基盤研究部 グリーンナレッジセンター)

2 勤務場所

(雇入れ直後)

総合地球環境学研究所

(所在地：京都市北区上賀茂本山 457 番地 4)

【交通手段】 地下鉄「国際会館」から京都バス「地球研前」下車
叡山電鉄「京都精華大前」徒歩 10 分

(変更の範囲)

変更なし

3 職務内容

(雇入れ直後)

- (1) グリーンナレッジセンターの所内外の体制整備[※]を行い、事業の企画・運営や研究プロジェクトの企画・推進を行うこと
 - (2) 総合地球環境学研究所の運営に関すること
 - (3) 総合地球環境学に関する研究や応募者の専門性を活かした研究・教育・社会貢献活動
- ※ 4 ページ目の「グリーンナレッジセンターの概要」も参照ください。例えば、グリーンナレッジバンクの構築に関わる研究の推進を想定しています。

(変更の範囲)

(変更なし)

4 応募条件

- (1) 上記職務内容を遂行するのに必要な産学公の連携や共創、地域における実践的研究プロジェクトにおける優れた知識と経験を有すること
- (2) 博士(Ph. D)の学位を有すること。または、それと同等の業績を有すること
- (3) 新事業の立ち上げ等に関わり、企画・運用を支援した経験を有すること

5 雇用期間

2026 年 9 月以降の可能な限り早い時期から 2028 年 3 月末まで

6 応募期限

2026年6月30日（火）午後5時（必着）

7 労働条件

（1）給与・手当： 年俸制（600万円）

諸手当（超過勤務手当・大学院担当手当を除く）、賞与、退職手当等の支給は無し

詳細は、大学共同利用機関法人人間文化研究機構特定有期雇用職員規程に定めるところによる。

<https://www.nihu.jp/sites/default/files/regulation/kh-13.pdf>

（2）勤務形態： 始業8時30分、終業17時（休憩12時15分から13時まで）を基本とする専門業務型裁量労働制

（3）休日： 土・日曜日、祝日、年末・年始（12月29日から1月3日まで）

（4）その他： 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険及び労災保険に加入

8 提出書類

下記（1）～（6）のPDF各1通を電子メールに添付して提出してください。（クラウドストレージサービス等の利用可）

（1）履歴書（写真貼付、機構様式をダウンロードすること）

（2）研究業績リスト（共著による論文や著作、刊行物等については、共著者等を全て記入してください。）

（3）研究業績資料（主要な論文、著作、刊行物等を5点程度提出してください。コピー可）

（4）職務内容に関するこれまでの経験と実績（4の応募条件を満たすことも含めて記載すること。1,500字（A4版1枚）以内）

（5）職務内容への抱負（1,500字（A4版1枚）以内）

（6）応募者について意見を述べられる方2名の氏名及び連絡先（電話及びメールアドレス）

※1 上記の提出書類はA4版横書きとし、それぞれ別ファイルとしてそれぞれに氏名を記入してください。提出いただいた書類は返却しません。

※2 提出書類は当人事の審査資料としてのみ使用するもので、他には一切使用いたしません。

9 選考方法

提出書類に基づく書類選考を行い、必要に応じてオンサイトもしくはオンラインによる面接選考を7月13日（月）に実施します。

面接候補者には7月7日（火）までに面接実施の旨を通知します。

なお、面接を受けていただく場合であっても旅費などは当方では手当ていたしませんので、ご承知おきください。

10 書類提出先（問い合わせ先）

電 話 : 075-707-2158

e-mail : jinji * chikyu. ac. jp (* を @ に変更してください。)

住 所 : 〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457 番地 4

※メールのタイトルを「グリーンナレッジ 特任助教応募 (カッコ内に提出者氏名を記入)」としてください。

※受付確認メールが3平日以内に届かない場合は、改めてメールにて送付してください。

1 1 その他

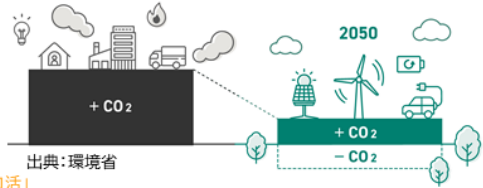
- ・総合地球環境学研究所は、国籍や性別に関わらず、すべての個人に平等な機会を保証します。
- ・総合地球環境学研究所では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。
- ・総合地球環境学研究所は男女共同参画を推進しています。
- ・応募にあたり不明な点がありましたら、遠慮なく担当者にお問い合わせください。

以上

社会変革を支える産学公グリーン知的インフラの共創

求められる社会変革 ≡ **カーボンニュートラル(CN)社会**

- 環境分野の最大の目標の一つは、2050年のCN社会
- CO₂排出量を減らしつつ、吸収を増やし、プラスマイナスゼロに



必要な変革



→政策例: グリーン成長戦略 →政策例: 脱炭素先行地域の全国ドミノ →政策例: 新しい国民運動「デコ活」

変革を阻む壁



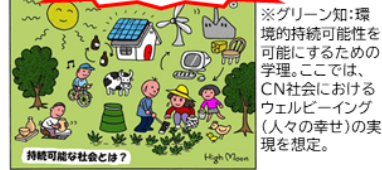
脱炭素化に向けた取組を進める上で最も影響が大きい課題



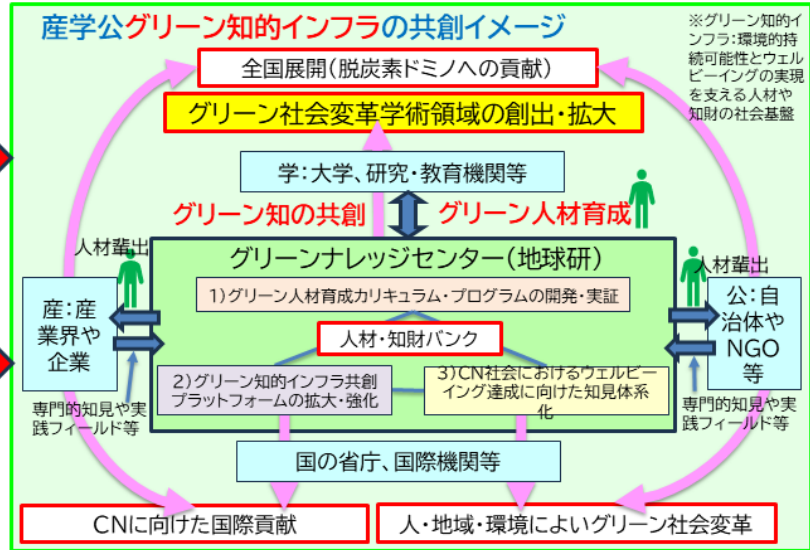
※グリーン人材: 経済活動の環境的持続可能性を可能にする人材等

暮らし革新(CN社会の受容)

グリーン知不足



※グリーン知: 環境的持続可能性を可能にするための学理。ここでは、CN社会におけるウェルビーイング(人々の幸せ)の実現を想定。



地域(市町村や地区レベル)



◆地域データ収集

- 環境指標/実態データ
- 暮らしや営みに関するデータ
- ウェルビーイング/価値観/暗黙・在来知に関する情報

◆地域実践・還元

地域の固有性も大切にしつつ、汎用性ある技術も活用した...

- 政策立案
- 教育実践
- 技術導入 など

グリーンナレッジバンク

グリーンナレッジプラットフォーム
(全国の大学や自治体と連携)

◆データ分析

- 地域の多様性を念頭においた環境モニタリング・解釈
- 地域環境による暮らし・営みの固有性・普遍性分析
- ウェルビーイングやプラネタリーヘルスの連関・地域性分析

グリーン人材バンク

◆グリーン人材育成カリキュラム開発及び教育展開

- 地域データ収集・分析スキル
- 解決策立案及び実証スキル
- 教育・コミュニケーションスキル

◆グリーン総合知・集合知へ

- 地域の暮らしや価値観(暗黙知)に根差した環境課題解決策の導出モデル
- 地域固有の幸福感(ウェルビーイング)が向上する環境課題解決シナリオ